

令和5年度の主な取組



技術開発・企画調整機能

東日本大震災・原子力災害からの復興の加速化による農林水産業の再生を支援するための試験研究の推進

大課題：避難地域等の営農再開を支える技術の実証

◆ 避難地域等の営農再開を進めるため、国や県が開発した基幹技術等をベースに、地域の営農再開の段階に応じた実証研究に取り組む。

水稲
畑作物
野菜
花き
飼料作物
地力増進作物 保全管理
鳥獣害対策

帰還困難区域



市町村	番号	試験研究課題
川俣町	1	山木屋在来ソバの栽培特性
田村市	2	カンショの縦穴浸水による排水技術
南相馬市	3	緑肥作物によるタマネギ栽培の減肥実証
	4	加工用ブロッコリー栽培試験
	5	電気柵監視装置の実証
	6	除草ロボの実証
飯舘村	7	阿武隈中山間地域におけるイタリアンライグラス収量向上の検討
檜葉町	8	カンショの低収要因の解明
富岡町	9	ユウカリ品種の栽培特定および病害発生程度の比較
	10	播種時期後ろ倒しによる秋ソバの作期拡大の実証
	11	特定復興再生拠点等における各種野菜の安全性評価
川内村	12	飼料用トウモロコシの放射性銻の有無吸収抑制対策に基づく栽培技術実証
	13	ソバ栽培における排水対策の実証
大熊町	14	ピーマンのトンネル栽培
	15	イブキジャコウソウによる畦畔管理
	16	エゴマ直播栽培の実証
	17	特定復興再生拠点等における各種野菜の安全性評価
双葉町	18	イタリアンライグラスおよびオーチャードグラスの放射性セシウム吸収抑制対策による栽培実証
	19	緑肥作物の組合せによる農地保全管理技術の実証
	20	ブロッコリー栽培における食品残渣由来消化液の利用実証
浪江町	21	深根性緑肥作物による排水対策
	22	液肥活用の可能性検討
葛尾村	23	抵抗性オヒソバ発生ほ場における防除体系の実証
	24	トルコギキョウ季咲き作型における還元消毒とクロルピクリン消毒を組み合わせた消毒方法の実証
葛尾村	25	コムギ有望品種の高冷地適応性の検討

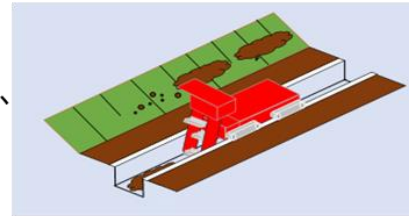
技術開発・企画調整機能

農林水産業の生産力を強化するための、先端技術を活用した技術開発等の推進

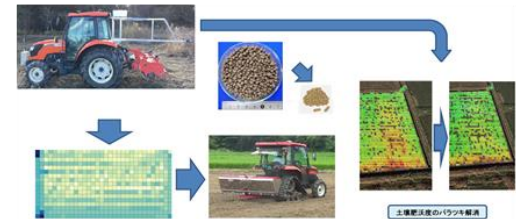
大課題:先端技術を活用した新たな農業生産技術の開発

(1) イノベーションによる避難地域等の新たな農業生産技術の開発

- ◆ イノベーション・コースト構想に基づき、民間企業等との共同研究によりICTやロボット技術等を活用して、水路管理機、土壌肥沃度のバラツキ改善技術を開発する。



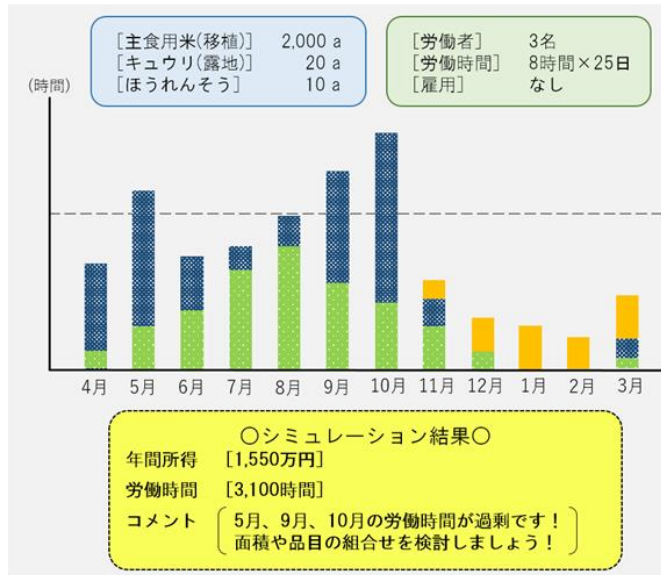
水路管理機のイメージ



土壌肥沃度のバラツキ改善技術のイメージ

(2) スマート農業技術を活用した農業生産技術の確立

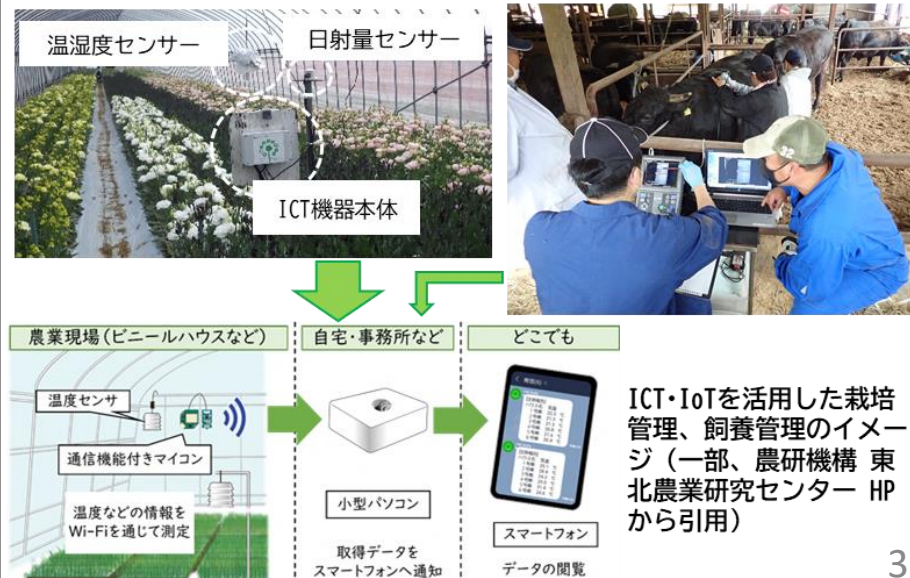
- ◆ スマート農業技術を活用し、営農モデルを作成するシミュレーションツールの作成、果樹の受粉作業技術の開発を行う。



シミュレーションツールによる出力のイメージ

(3) 先端技術を活用した省力的栽培技術の確立

- ◆ 少ない担い手で大規模経営を可能にするため、ICT・IoTを活用した栽培管理技術や乳牛の飼養管理技術の開発、先端技術を活用した作業機械や生産技術の開発と実証を行う。



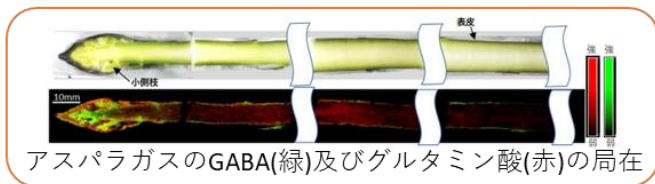
技術開発・企画調整機能

県産農林水産物の競争力を強化するための、「ふくしま」ならではの価値向上に資する品種開発等の推進

大課題：農産物を「ふくしま」ならではの製品にする技術の開発

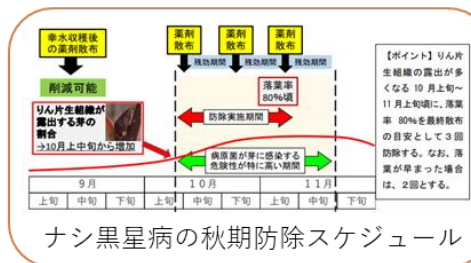
(1) 県産農産物の特性を活かした利用技術の開発

- ◆ 県産農産物の加工技術や鮮度保持技術の開発・改良を進める。
- ◆ 加工原料としての特性を解明することによって特色ある加工素材の利用技術を開発する。



(2) 県産農産物の輸出拡大に向けた生産・保鮮技術等の開発

- ◆ 導入コストを抑制したモモせん孔細菌病対策のため、多目的防災網を活用した防除技術を検証する。
- ◆ ダリア及びシュッコンカスミソウの輸出を想定した輸送・梱包技術および鮮度保持技術を確立する。



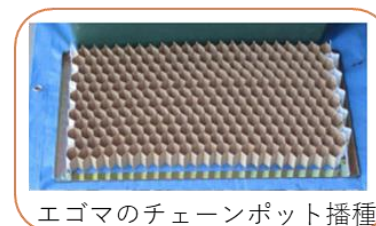
(3) 「福島牛」ブランド競争力強化技術の確立

- ◆ 「福島牛」の価値向上及び他地域との差別化を図るため、牛肉の「おいしさ」要因を解析する。
- ◆ 要因結果を取り入れた種雄牛造成及び飼養管理技術を開発することで、新生「福島牛」高付加価値生産システムを確立する。



(4) 「ふくしま」ならではの地域特産物を活かした栽培・流通技術の確立

- ◆ 福島県の地域特産物であるエゴマ、オタネニンジンの省力安定生産技術の開発を行う。



技術開発・企画調整機能

地球温暖化等の気候変動に対応し、環境と共生する農林水産業を進めるための技術開発等の推進

大課題：環境負荷を低減する農業生産に資する研究開発

(1) 中山間地における農地管理技術の開発

- ◆ 農地の維持管理が困難な中山間地において、除草作業の省力化技術を確立して、耕作放棄地化の未然防止と遊休農地の再利用を図る。



リモコン式草刈り機（左）と刈り払い機（右）による除草作業の実証

(2) 環境と共生する病害虫防除技術の開発

- ◆ 各作物における総合的病害虫管理(IPM)防除技術を開発し、化学合成農薬に過度に依存しない環境と共生する病害虫防除技術を開発する。



イネドロオイムシ薬剤感受性の研究



トマトかいよう病耐病性の研究

(3) 有機農産物の低投入持続型栽培技術の確立

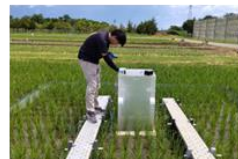
- ◆ 水稲では、抑草技術と稲わら等ほ場由来の副産物以外に資材投入しないことや耕耘法による雑草抑制など低投入持続型技術の確立に取り組む。
- ◆ 野菜では、地域の有機物を循環活用した土作りを進める。また、経営安定化と実需者のニーズに応えるため、施設を活用した周年出荷体制を確立する。



耕起法による雑草抑制技術の確立

(4) 環境負荷の低減に向けた技術の開発

- ◆ 水田における温室効果ガスの発生を抑制する栽培管理技術、果樹における化学肥料低減や一発肥料施用による高品質果実生産技術など、肥料や農薬の多投入をやめ、たい肥等有機物による土づくりなどにより、環境にやさしい農業生産を目指す。



水田の温室効果ガス排出軽減技術の確立

技術開発・企画調整機能

安全・安心な県産農林水産物の安定供給と生産者の所得向上のための
試験研究の推進

大課題：農産物の安定供給に寄与する鳥獣被害防止・病害虫防除等に係る研究開発

(1) 野生鳥獣害対策技術の確立

- ◆ ICT、IoT機器等を用いて、野生鳥獣害の出没状況の把握や地域の鳥獣対策に関連する情報の見える化を行い、ICT機器を用いた被害対策技術法として確立する。



センサーカメラで撮影されたイノシシ

(2) 農作業事故防止技術体系の確立

- ◆ 農作業事故の内容(受傷者、受傷程度、発生時期、使用用具・機械など)について分類・調査を行い、発生状況や要因を明らかにし、効果的な注意喚起の検討を行う。

(5) 新農薬・新資材等の効率的利用法

- ◆ 安全で有効な新農薬の効率的な使用法及び有用な肥料・新資材の実用化を図る。

(3) 新奇病害虫・難防除病害虫防除技術の確立

- ◆ 現場で発生する病害虫の診断・同定を行う。
- ◆ 新奇・難防除病害虫等の生態解明を解明するとともに、行うとともに、新たな防除技術を開発する。

(4) 果樹の病害虫に対する防除技術の確立

- ◆ モモせん孔細菌病やナシ黒星病など、重要な病害虫に対する防除技術を確立する。
- ◆ モモ急性枯死症の発生要因を解明し、対策技術を開発する。
- ◆ 薬剤耐性菌、薬剤抵抗性害虫などの実態を調査し、病害虫を管理する技術を確立する。
防除対策が必要な果樹の病害虫について、有効かつ効率的な防除方法の改善に取り組む。
- ◆ 外来カミキリムシの発生実態を明らかにするとともに、果樹加害リスクの評価を行う。



モモせん孔細菌病



ナシ黒星病



外来カミキリムシ
(ツヤハダゴマダラカミキリ)

県民との交流・情報発信機能

1 農業総合センターまつり (4年ぶりに制限なしの通常開催)

本部 開催日: 9月1日・2日
 内容: 技術移転・有機農産物・家庭菜園セミナー、製作体験、センターツアー、
 技術相談、農産物販売、など

入場者数: 1,703人

果樹研究所 開催日: 9月8日
 内容: 技術移転セミナー、ほ場案内、果樹販売

2 田んぼの学校

対象 高倉小学校 5年生1名 6年生5名
内容 米作りの農業体験
 田植え、除草作業、稲刈り、ご飯の食べ比べ



第16回

農業総合センターまつり

ガラポン抽選会もやるよ

9月1日(金)・2日(土)
 9:30~16:00 9:30~15:00

農業技術セミナー
 9月1日(金)
 10時~10時30分 雑草イネ防除方法
 11時~11時30分 トマトかいよう病防除方法

昆虫標本展示
 昆虫展示 9/2(土)のみ
 レンズストラップ作り 9/2(土)のみ
 動物愛護コーナー
 キッチンカー

お問い合わせ先
 福島県農業総合センター
 電話 024-958-1700
 住所 郡山市日和町高倉字下中道116

センターツアー
 有機農業セミナーお土産付き
 9月2日(土)14時~、児童とその保護者10組
 ※事前の申込が必要です(抽選)

クイズコーナー
 米・大豆の稲藁当て、1日分に必要米貯米

家庭菜園セミナー
 9月2日(土)各30分
 ○野菜 10時~
 ○土づくり 11時~
 ○花き 13時~

果樹研究所会場
 9月8日(金)10時~15時
 電話 024-542-4191
 住所 福島市飯坂町平野字楯の東1

農業技術相談

研究成果展示

農産物販売

収穫体験
 ※収穫物の持ち帰りも可能です(抽選)
 ※事前の申し込みが必要です(抽選)

農機具・資材展示

※天候、その他の理由により、内容が変更・中止になることがあります。
 ©「福島県農業総合センター」は、農業の試験研究、普及及び安全な生産を目的として設置する県の施設です。

県民との交流・情報発信機能

海外からの 視察

4/20
イギリス大臣



4/27
フランス原子力安全・
セキュリティ情報・透
明性高等委員会



6/13
駐日リトアニア
共和国大使

8/23
ベトナム・ザライ省幹部

